



2023年7月22日

児童相談所会議室A・B

第48回雑居まつり 第2回実行委員会 報告

◆討議事項

前回の実行委員会で各団体に持ち帰って検討する事となっていた内容についての話し合いが行われ、以下のような意見が出されました。

なお、「ゴミ」に関しては文章に埋没しないようにカタカナで表記します。

1. 模擬店における食器について

- ・「模擬店はあった方が良い」という意見が多くきかれると共に、「食器（ゴミ）のことを考える必要がある」との声も多く聞かれた。
- ・雑居の趣旨に沿った方法を考え、過剰包装などを含めてゴミを出さない工夫が必要。
- ・模擬店を行う団体が考えれば良いのではないか。
- ・「環境に配慮した使い捨て食器など」と「紙製の使い捨て食器など」の境目が難しい。

2. 飲食エリアの設置の有無について

- ・飲食エリアを設けるのが良いと思う。
- ・机などの準備が必要になるが、そこに永く滞在してしまうのではないか。
- ・飲食エリアがある事によって休憩所にもなる。
- ・感染リスクを軽減させるためにも、食べ歩きは少なくしたい。
- ・飲食スペースには、長いすを設置したらどうか（業者からのレンタルを検討含め）

3. ゴミ処理について

- ・ゴミの問題は食べ物を扱う団体だけの問題ではなく、雑居まつり全体の問題だ。
- ・コロナの感染リスクがある中で、以前のようなクリーン係を立ち上げてその人たちがリスクを負うのはおかしい。
- ・公園のゴミ箱は封鎖しない。（できない）
- ・野球や散歩、テニスなど、日常的に使用している人たちの分も雑居まつりが受け持つのか？
- ・まつり当日に羽根木公園で出るゴミは、雑居まつりみんなで賄う。
- ・飲食エリアにゴミ箱を設置して、そこで回収すれば良いのではないか。

4. 開催時間について

- ・前回の事務局からの発言などを考えると 10時から 15時が現実的。
- ・自分たちの体力などを考えると、11時から 15時が良い。

- ・模擬店をやるのであれば、お昼を挟む方が良い。
- ・羽根ロックの参加者が片付けに協力するから、10時から16時で開催できないか。

5. 出店場所について

- ・参加団体数が確定しないと難しい。
- ・去年は50団体くらいでスカスカだった。今年少し増えても大丈夫だと思う。
- ・コロナ前までの場所と比べると使いづらかった。
- ・エリア別でも人の流れを考えた動線を確保するなど、工夫をすれば良い。

決定事項

以上のように1～5についてたくさんの意見をいただき検討した結果、

1. 模擬店はおこなう。

食器に関しては、①「食器や容器を使わずに、紙、紙袋、串、ビニール袋などを使う。：ゴミは少ない。」、②「レンタル食器：ゴミが出ない。(資源(物)を大切にできる。）」、③「環境に配慮した使い捨て食器や容器：ゴミになるが、自然環境を大切にできる。」、④「紙製の使い捨て食器や容器：ゴミは出るが、ゴミの最終処分時などの課題が少ない。」の4つの方法を各団体が雑居の趣旨に沿って検討する。

2. 飲食エリアを設ける。

3. ゴミの処理方法については次回も継続して検討する。

4. 開催時間は10時から16時。

5. 昨年と同じエリア別での開催。

6. 実行委員長の選出

- ・平和食堂吉田屋の吉田恵子恵子さんが立候補し、満場一致で決定した。

◆今後の予定

※会議の進捗状況により、回数が増えたり減ったりする可能性があります。

○第3回実行委員会	7月29日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室
○第4回実行委員会	8月19日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室
○第5回実行委員会	9月9日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室
○第6回実行委員会	9月16日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室
○第7回実行委員会	9月30日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室
◎第48回雑居まつり	10月8日(日)羽根木公園	
○第8回実行委員会	10月28日(土)午後7時～9時	児童相談所A・B会議室

※参考（昨年度の配置）および飲食スペースを設ける場合の（案）

- エリア A（16団体） - 「核と戦争とくらしを考える広場」（9団体）、
「この指とまれの広場」（7団体）
- エリア B（18団体） - 「ゆかいなまち」（7団体）、
「神戸発ぼちぼち・みなこい広場」（5団体）、
「全国からの広場」（6団体）
- エリア C（16団体） - 「ふれあい通り」（14団体）、
「アジア・アフリカのまち」（2団体）
- ステージ・その他（3団体）

